

医業トピックス

税理士法人 長谷川会計

〒733-0822 広島市西区庚午中 2-11-1

TEL 082-272-5868

URL <http://www.hasegawakaikai.com/>



日々の医事データから何が見える？

医事データを経営分析に活用しよう



経営分析は会計データを基に行いますが、医事データには、それでは把握できないことや経営改善に役立つデータが多くあります。医事データは、主としてレセプトコンピュータで得られます。医事データには、決算書や経営分析で把握できない、経営の現状を表すデータがたくさんありますので、有効活用しましょう。

医事データから分かること

1. 月別患者数、月別収入金額の推移

例えば、直近3年間の時系列比較により、今後の傾向が分かります。また、患者数は、地域に支持されているかの指標にもなります。

2. 月別収入種類別患者数と月別収入金額の種類別の推移

例えば、今後の収入予想や、社保・国保・後期高齢者保険のいずれが多いのか、さらには、当該地域の社保・国保・後期高齢者保険と、自院との比較により、自院の占有率等も分かり、増患対策の参考となります。

3. 通院回数の把握

通院回数 = 「件数 ÷ 実日数」(国民健康保険の場合)

通院回数 = 「件数 ÷ 日数」(社会保険の場合)

通院回数が多いか少ないか、同一診療科他院と比較することで、改善の糸口をつかめます。

4. 診療圏の把握・分析

診療圏調査と実際(現状)の診療圏(調査)分析ができます。計画では、診療圏全域から1日60人と推計していても、実際には1日50人であるとした場合、町丁別にドリルダウンします。診療圏調査では、A町からの推計患者数が1日10人であったのに、実際は4人しか来院していないとすれば、その原因を分析し、対策を打つデータに使えます。

例えば、来院患者数の少ない地域に看板を設置することなどが考えられます。

5. 1人当たり診療単価

自院の一般、老人などの1人当たり診療単価と同一診療科他院の診療単価を比較し、診療単価の比較分析ができます。